

2021 年度 りんご病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り使用量)	使用 時期	使用 回数	散布量 ℓ/10a	対象病害虫	注 意 事 項
／	第 1 回 3 月中下旬 ＊発芽前	(水 88ℓ) スプレーオイル 石灰硫黄合剤 2ℓ 10ℓ	発芽前 休眠期	－ －	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順：スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加用する。 ② 石灰硫黄合剤に代えてベフラン液剤 25 の 1,000 倍(休眠期、6 回以内。ただし開花期以降は 3 回)を使用してもよい。 混用順：ベフラン液剤→スプレーオイル
／	第 2 回 4 月上中旬 ＊展葉後	展着剤(ササラ) ベフラン液剤 25 50mℓ 100mℓ	展葉期	3 回	400	黒星病	① 【うどんこ病対策】 コロナフロアブル 400 倍を加用する。 ② 【黒星病対策】 4 月下旬にパスポート顆粒水和剤 1000 倍(45 日前、3 回)を特別散布する。
	第 3 回 4 月末 ＊開花期	展着剤(ササラ) サムコルフロアブル 10 スコア顆粒水和剤 ユニックス顆粒水和剤 47 50mℓ 20mℓ 33g 50g	前日 14 日前 14 日前	3 回 3 回 4 回	500	黒星病、うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類	① 【アブラムシ類対策】 ウララ DF 2000 倍(14 日前、2 回)を加用する。
／	第 4 回 5 月上旬 ＊落花後	展着剤(ササラ) カナメフロアブル 50mℓ 25mℓ	前日	3 回	500	黒星病・うどんこ病・赤星病	① 【代替】 カナメフロアブルに代えて、オルフィンフロアブル 4000 倍(7 日前、3 回)でもよい。
／	第 5 回 5 月下旬 ＊落花 10 日後	展着剤(ササラ) トランスフォームフロアブル ジマンダイセン水和剤 50mℓ 50mℓ 200g	前日 30 日前	3 回 3 回	500	黒星病、黒点病、褐斑病 アブラムシ類、カイガラムシ類 コアオカスミカメ、リンゴワタムシ	① 【代替】 トランスフォームフロアブルに代えて、コルト顆粒水和剤 4000 倍(前日、3 回)でもよい。 ② 【代替】 ジマンダイセン水和剤に代えてパレード 15 フロアブの 2,000 倍(前日、3 回)でもよい。 ③ 【幼果カルシウム補給】 カルタス 1200 倍を加用する。目安：第 5 回～7 回の 3 回連続散布 ④ 【黒星病対策】 5 月末にジマンダイセン水和剤 500 倍(30 日前、3 回)を特別散布する。
／	第 6 回 6 月上旬 梅雨入り前 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) アントラコール顆粒水和剤 ダーズバン DF 50mℓ 200g 33g	45 日前 45 日前	4 回 1 回	600	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭そ病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ リンゴワタムシ	① 【カイガラムシ類対策】 アプロードフロアブル 1000 倍(30 日前、2 回)を加用する。
／	第 7 回 6 月下旬 梅雨中盤 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) シトラノフロアブル スプラサイド水和剤 50mℓ 100mℓ 66g	45 日前 30 日前	3 回 2 回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類、キンモンホソガ ハマキムシ類、リンゴワタムシ クワコナカイガラムシ、カメムシ類	① 【キンモンホソガ対策】デミリン水和剤 4000 倍(30 日前、3 回)を加用する。 ② 【腐らん病対策】 トップジン M 水和剤 1,000 倍(前日、6 回)を加用する。
／	第 8 回 7 月上旬 梅雨最盛期 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) バイスロイド EW ラビライト水和剤 50mℓ 50mℓ 200g	7 日前 30 日前	4 回 1 回	600	腐らん病、炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病、黒星病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① 【輪紋病対策】 IC ボルデー 412 の 33 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種にはボルデー液は使用しない。 ② 【炭そ病対策】 7 月中旬にオーソサイド水和剤 80 の 1000 倍(前日、6 回)を特別散布する。尚、散布間隔は前回から 7 日後とする。
／	第 9 回 7 月下旬 梅雨明け後 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) ダニゲッターフロアブル オリオン水和剤 40 キノンドー顆粒水和剤 50mℓ 50mℓ 100g 100g	前日 前日 14 日前	1 回 2 回 4 回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類、シンクイムシ類 ハマキムシ類、カイガラムシ類	① 【薬害注意】 ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻やぶどうに飛散しないようにする。 ② 【代替】 キノンドー顆粒水和剤に代えて、オキシラン水和剤 500 倍(14 日前、4 回)でもよい。
／	第 10 回 8 月上旬 お盆前 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) コロマイト乳剤 エクシレル SE ダイパワー水和剤 50mℓ 100mℓ 20mℓ 100g	前日 前日 前日	1 回 3 回 3 回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 ハダニ類 シンクイムシ類、キンモンホソガ	① 【シンクイムシ類対策】 8 月中旬(お盆期間)にバリアード顆粒水和剤 2000 倍(前日、3 回)を特別散布する。 ② 【ハダニ類対策】 8 月中旬(お盆期間)にアカリタッチ乳剤 1000 倍(前日、-)を特別散布する。
／	第 11 回 8 月中下旬 お盆後 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) プリントフロアブル 25 イカズチ WDG オーソサイド水和剤 80 オマイト水和剤 50mℓ 50mℓ 66g 100g 133g	前日 前日 前日 前日 3 日前	4 回 2 回 6 回 1 回	600	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病、ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① 【ドリフト注意】 オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないようにする。
／	第 12 回 9 月上旬 秋雨前 ＊前回より 15 日後	展着剤(ササラ) アリエッティ C 水和剤 ダントツ水溶剤 50mℓ 100g 50g	前日 前日	3 回 3 回	600	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病、 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒星病 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ	① 【ハダニ類対策】 アカリタッチ乳剤 1000 倍(前日、-)を加用する。 ② 【軟化防止対策】 カルタス 1200 倍を加用する。
／	第 13 回 9 月中旬 秋映等最終 ＊前回より 10 日後	展着剤(ササラ) ベフラン液剤 25 ディアナ WDG 50mℓ 50mℓ 10g	前日 前日	3 回 2 回	600	すす点病、すす斑病 斑点落葉病、褐斑病 黒星病 シンクイムシ類、キンモンホソガ	① 【軟化防止対策】 カルタス 1200 倍を加用する。
／	第 14 回 9 月下旬 ふじ最終 ＊前回より 10 日後	展着剤(ササラ) ストライド顆粒水和剤 50mℓ 66g	前日	3 回	600	炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 すす点病、すす斑病 黒星病	① ふじ等晩生種最終防除。 ② 【薬害注意】 ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがある。 ③ 【軟化防止対策】 カルタス 1200 倍を加用する。

展着剤ササラ 2000 倍（600ℓ に 300ml）を使用する。薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きが早くなる。

【幼果期のカルシウム補給】カルタス 1200 倍（600ℓ に 500ml）を第 5 回（5 月中下旬）～第 7 回（6 月下旬）まで 3 回連続加用する。

◆ 混用例：展着剤 ⇒ 液剤⇒ 乳剤⇒ 顆粒水溶剤⇒ 水溶剤⇒ フロアブル⇒ ドライフロアブル（DF）⇒ 顆粒水和剤（WDG）⇒ 水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します。